

長崎県民は「新幹線反対」「諫早開門」多数

知事選舌戦 民意とズレ

21日投開票の長崎県知事選を前に朝日新聞社が同県内の有権者を対象に実施した世論調査で、九州新幹線西九州(長崎)ルートの建設に反対する人が賛成を上回った。一方、国営諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門の開門調査については賛成が多数となった。7人が立候補した同知事選は、民主など与党3党が推薦する元農水官僚と、自民・公明が支援する元副知事の争いが軸だが、両氏とも新幹線建設には賛成、開門調査には反対の立場。民意とのねじれが浮き彫りになった。

Ⅱ面に「時時刻刻」

本社世論調査と比べると

世論調査で九州新幹線長崎ルートについて賛否を尋ねたところ、「反対」が46%、「賛成」が32%、「その他・答えない」が22%だった。男女で意見の違いはなかった。年代別では40代では互角だったものの、50代以上ではいずれも反対が多かった。

長崎ルートは2008年4月に佐賀・武雄温泉―長崎・諫早間が着工され、新年度予算案にも70億円が盛り込まれた。しかし、同区間の総事業費2800億円に対し、短縮できる時間は博多―長崎間で26分と、費用対効果に疑問の声もある。

それでも、知事選の候補者のうち、民主、社民、国民新の3党が推薦する元農林水産省改革推進室長の橋本剛氏(40)と、自民と公明が支援する元副知事の中村法道氏(59)はどちらも建設推進の姿勢を打ち出している。

一方、開門調査については「賛成」が40%を占め、「反対」は25%。残り35%は「その他・答えない」だった。50代以下では半数前後が賛成と答えている。

開門調査は、佐賀県が強くと求めているものの、長崎県は干拓地での農業に塩害などの被害が出るとして絶対反対の立場だ。橋本、中村両氏とも従来の長崎県と同様に反対の立場を表明している。

知事選には両氏のほか、元共産党員委員長の深町孝郎氏(67)Ⅱ共産推薦Ⅱ、元県議の

■長崎県知事選の主な候補者と訴えの状況

候補者	所属	元農水省室長	元共産党員委員	元副知事	元県議	元参院議員	新幹線 延伸	開門 調査
橋本 剛(40)	無新	○	○	○	○	○	○	○
深町 孝郎(67)	無新	×	×	○	○	○	×	×
中村 法道(59)	無新	○	○	○	○	○	○	×
押瀨 礼子(71)	無新	×	×	×	×	×	×	△
大仁田 厚(52)	無新	△	△	△	△	△	△	△

○は賛成、×は反対、△は「どちらとも言えない」。届け出順、四角囲み政党は推薦

押瀨礼子氏(71)、元参院議員の大仁田厚氏(52)、元会社員の松下満幸氏(62)、会社役員

の山田正彦氏(44)が立候補している。調査は県内の有権者に対し13、14の両日、コンピュータで無作為に作成した番号に電話をかける「朝日RDD」方式で実施した。有効回答は1011人、回答率は68%だった。